

神楽会館

K A G U R A K A I K A N

入場料 一般: 1,200円 中学生以下: 500円
(当日はともに500円増)

※チケットは事前予約もしくは当日販売で受付致します。
お問い合わせは神楽会館まで

先人達の英知と情熱で受け継がれた「神楽」。
舞手の鼓動や息づかいが伝わってくる
神代の世界に触れる。

8月

(第207回)
一般公演

2026年8月16日(日) 12:30~15:30

出演団体 浅草流松尾神楽
岡倉神楽社

予約開始日 2026年6月16日(火)

8月

自主公演
公演名
「未来へつなぐ
神楽の舞」

2026年8月22日(土) 12:30~15:30

出演団体 竹田高等学校 臥牛神楽愛好会
由布高等学校 郷土芸能部

予約開始日 2026年6月22日(月)

入場料 一般: 800円 中学生以下: 400円
(前売・当日ともに同額)

9月

(第208回)
一般公演

2026年9月20日(日) 12:30~15:30

出演団体 浅草・犬山神楽社
庄内原神楽保存会

予約開始日 2026年7月20日(月)

10月

(第209回)
一般公演

2026年10月18日(日) 12:30~15:30

出演団体 柴山八幡社付属柴山俚楽
竹の中神楽保存会

予約開始日 2026年8月18日(火)

11月

(第210回)
一般公演

2026年11月15日(日) 12:30~15:30

出演団体 御嶽神楽

予約開始日 2026年9月15日(火)

神楽会館

神楽公演 協賛



ぶんごおおのエナジー

チケット販売場所 豊後大野市神楽会館

主催/豊後大野市神楽会館 共催/豊後大野市、豊後大野市教育委員会

後援/NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・J-COM大分ケーブルテレビ・エフエム大分
大分合同新聞社・朝日新聞大分総局・読売新聞西部本社・毎日新聞社・シティ情報おおい

お問い合わせ/豊後大野市神楽会館 〒879-6903 豊後大野市清川町砂田810番地 TEL:0974-35-2372

神楽会館 検索 全席指定/288席(車いす席3席・介助者席3席)

神楽会館HP ▲ホール内でのフラッシュ撮影及び、席を移動しての撮影は禁止といたします。



【交通アクセス】

- JR豊後本線利用の場合
大分～豊後清川駅…50分
豊後清川駅より…徒歩5分
- 車利用の場合
大分から…50分
豊後清川から…3時間
大分空港から…2時間

8月

(第207回)

一般公演

あさくさりゅうまつおかぐら
浅草流松尾神楽

県内でも最も多く伝播する浅草流の流れを汲む神楽で、男壮かつ活潑な浅草流の特徴をよく伝える神楽座です。昭和52年には大分県指定となり、以降途絶えることなくその舞いを伝えています。今もその継承活動は盛んで、雄大な自然に包まれた市内三重町松尾地区の公民館を拠点として黙々と練習に励んでいます。子ども神楽を結成し後進の育成だけでなく、地域活性化、青少年の健全育成にも貢献しています。

おかぐらかぐらしゃ
岡倉神楽社

岡倉神楽の始まりは言い伝えによると明治初年に岡倉の小野実五郎が、豊後大野市の犬山から浅草流神楽を学んだとされ、以来約120年以上伝承されています。しかし、過疎高齢化により岡倉地区だけでは維持が困難となりましたが、昭和50年ごろ復興、その舞いは、アドアシという飛び跳ねる動きと、腰を落として踏みしめる動きを合わせた足さばきで躍動感のある舞いが特徴です。県内外での公演や福祉施設への慰問など活躍している神楽社です。

8月

自主公演

公演名
「未来へつなぐ
神楽の舞」たけたこうとうがっこう がぎゅうかぐらあいこうかい
竹田高等学校 臥牛神楽愛好会

私たちは、竹田高校の臥牛神楽愛好会です。主な活動は、高校文化祭(臥牛祭)において、毎年神楽を披露しています。今年度は、1年生1名、2年生1名、3年生7名の合計9名が集まり、9月の臥牛祭に向けて限られた練習時間の中で呼吸を合わせて練習をしています。今回披露する演目は「綱武」、「榮曳」の二演目です。メンバーの半数以上が神楽未経験者ですが、高校生らしく迫力ある男壮な舞を披露します。是非お楽しみください!

ゆふこうとうがっこう きょうとげいのうふ
由布高等学校 郷土芸能部

由布高校郷土芸能部は、昭和51年に創部され、現在は男子11名、女子5名の計16名で活動しています。学校敷地内に神楽殿があるという恵まれた環境の中で、地元で伝わる「庄内神楽」を伝承するために、日々稽古に励んでいます。これまで大分県代表として全国総文に20回出場し、文部科学大臣賞を1回、文化庁長官賞を2回受賞しました。福祉施設訪問や地元の祭り、校内での定期公演など年間30回ほどの公演を行い、伝統の舞を奉納しています。

9月

(第208回)

一般公演

あさくさ・いぬやまかぐらしゃ
浅草・犬山神楽社

豊後大野市大野町には、浅草神社付・浅草神楽社と上津神社付・犬山神楽社が存在していました。浅草流神楽座はいうまでもなく浅草流の本山とされる神楽座。一方犬山神楽座は県の文化財指定を受けるほどで、一説には上津流とも呼ばれる神楽座です。しかし、双方の神楽座とも過疎高齢化により存続の危機を迎え、平成14年に保存会を結成し現在に至ります。大野町で活動する唯一の神楽座として、継承活動のみならず、祭典での奉納舞いや小中学校での学習会、福祉施設への慰問など積極的に地域活動を展開しています。

しょうないばるかぐらほぞんかい
庄内原神楽保存会

「安永7年(1778)に社家集団による神楽の奉納が行われた。」という記録が残る大分県由布市の庄内神楽。今のよう形として始められたのは、明治の初期に一般の氏子などによる同好会的神楽集団が組織されるようになり、大野系岩戸神楽発祥の地から伝承されたもので、浅草流を継承しています。庄内地区系の神楽を継承する庄内原神楽保存会は、昭和2年に小原神楽座として発足、昭和51年に、庄内原神楽保存会となりました。また、出雲神楽の長所を取り入れた娯楽性の高い神楽で、比較的早いテンポにのって男壮に、時にはユーモラスに舞い継がれ、人気を博しています。

10月

(第209回)

一般公演

しばやまはちまんしゃふぞくしばやまがく
柴山八幡社付属柴山俚楽

「ひょうたん祭り」でも有名な千歳町柴山八幡社所属の浅草流を継承する神楽座。浅草流の持ち味である男壮・軽快であることはもちろん、千歳町浅草流に共通するスピード感も豊富な神楽で大太鼓の豪快かつ華麗なパチさばき、早いリズムにのった舞いは激しく躍動的で、また、平成11年には「全国神楽大会」で大分県代表として出場し全国の代表の前で、男壮な舞いを披露しました。

たけのなかかぐらほぞんかい
竹の中神楽保存会

竹の中神楽保存会は、由布市庄内町大津留地区を拠点とし、庄内神楽座長会に所属する神楽団体です。明治35年に浅草流高津神楽より伝授され、地元神社をはじめ、県内各地で活動を行っています。決して派手さはないが昔から続く素朴で味わいのある神楽を、後世に残すべく日々練習に励んでいます。また、4月から11月の定期公演をはじめ、地方公演、各種イベントに参加するなど好評を得ている人気の高い神楽座です。

11月

(第210回)

一般公演

おんだけかぐら
御嶽神楽

宝徳元年(1449)大友親隆公がこの地に御嶽神社を勧請した際に発祥したといわれる神楽。平成19年に国の重要無形民俗文化財に指定され、その調査研究事業により江戸時代後期に当時の神主加藤筑後守長古により現在ある形の大野系岩戸神楽の原形が創られたことがわかり、無形の民俗文化財として、学術的な裏打ちがなされ貴重な芸能となっています。一時はその存続さえ危ぶまれた時期もありましたが、当時の清川村あげての保存活動によって復活。御嶽流神楽大会、大分県総合文化センターでの単独公演、国際民族芸能フェスティバルへの出演など活発に活動しています。